

1 submission 踏み台問題とは？

加瀬 正樹（ニフティ株式会社）

2 ISPの対応事例～BIGLOBE編～

加藤 理人（NECビッグロース株式会社）

3 スпамメール×マルウェアの実態

上村 理（トレンドマイクロ株式会社）

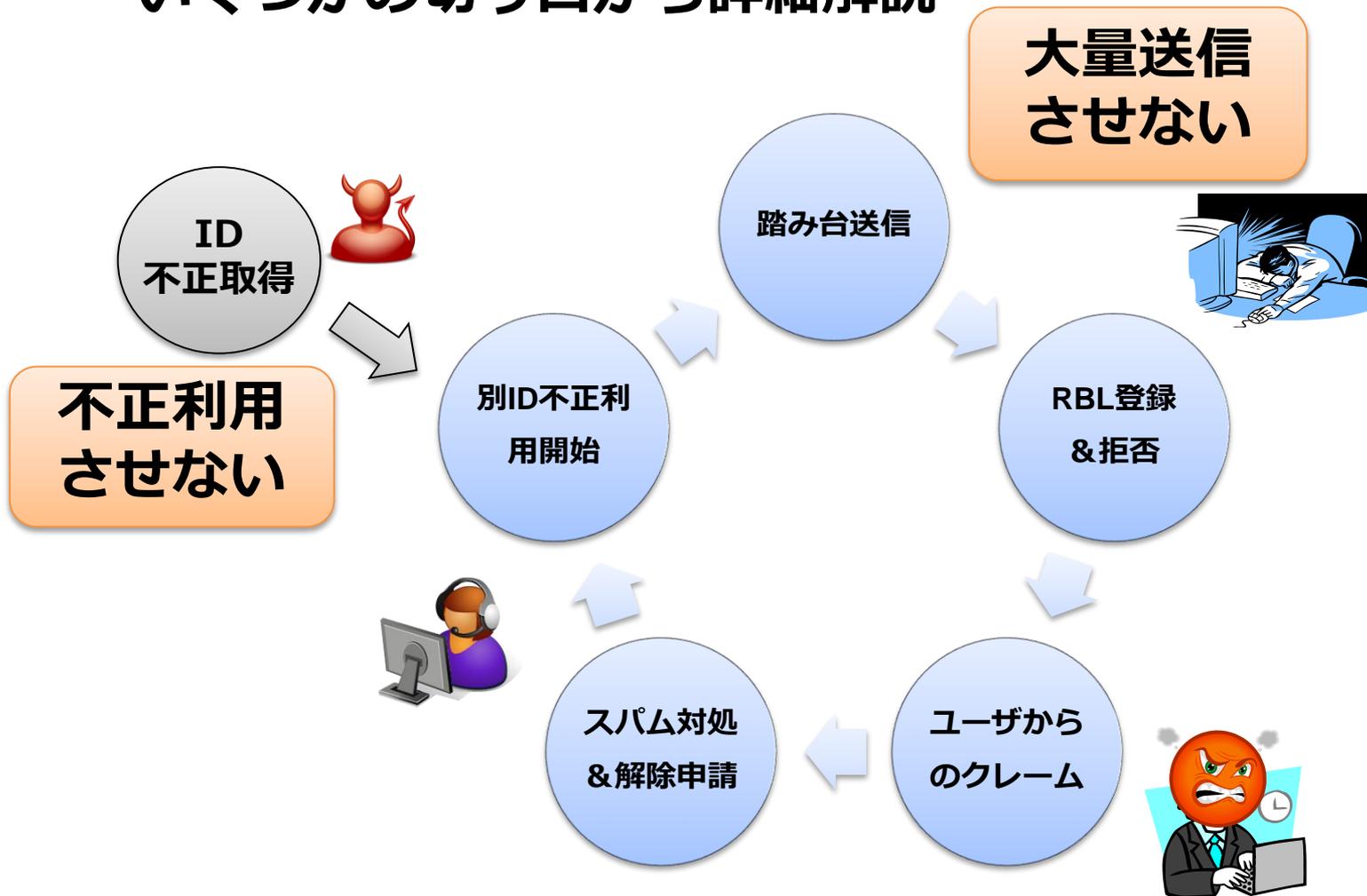
4 Submission踏み台問題への対策

西島 正憲（株式会社シマンテック）

5 対策の実際と将来的な解決は？

加瀬 正樹（ニフティ株式会社）

いくつかの切り口から詳細解説



Spammer はどうやってID/PWを入手している？

1. **マルウェア感染**
2. **オンライン攻撃**
3. **危殆化システム**

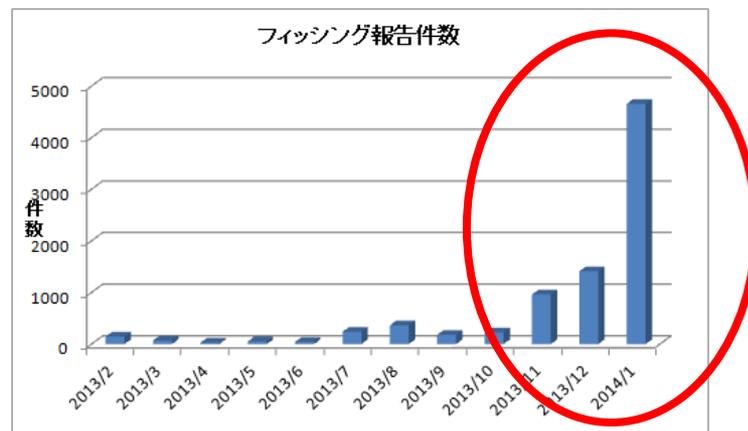


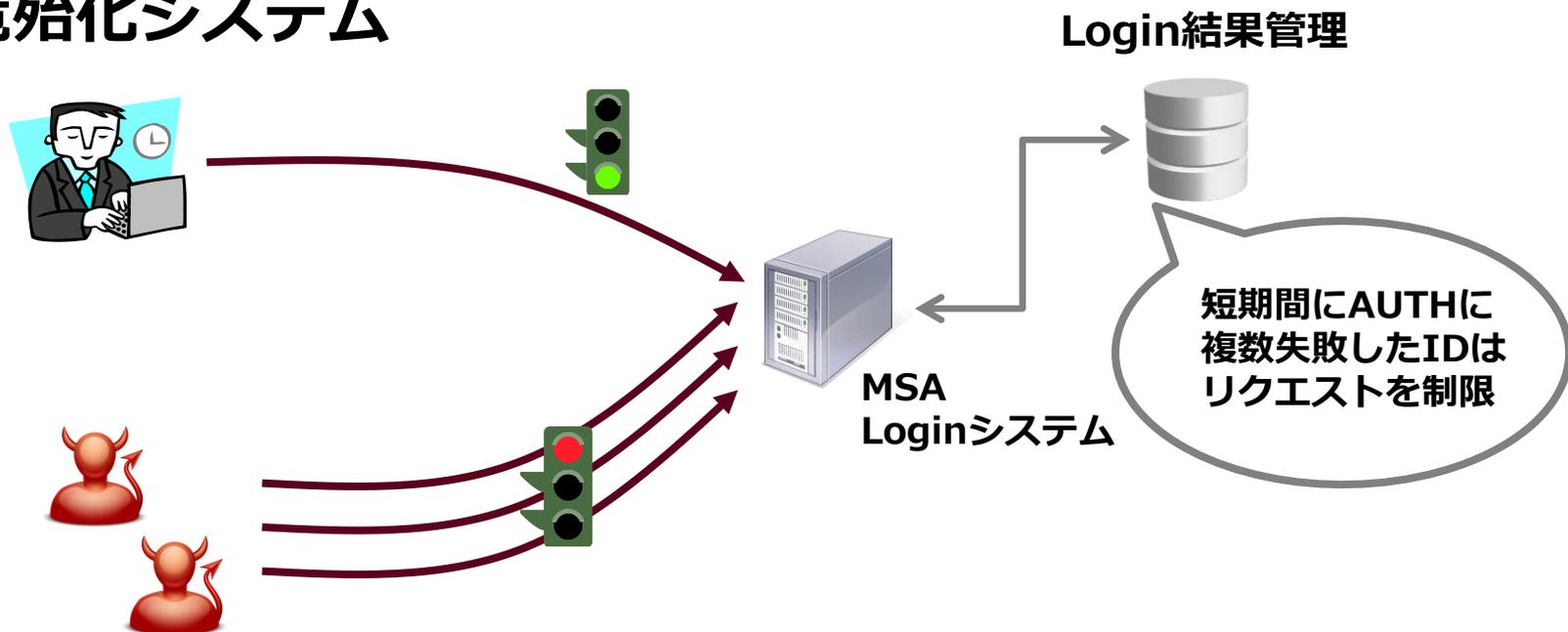
図. フィッシング対策協議会に寄せられたフィッシング報告件数(海外含む)

- ✓ 2013年11月度から報告件数が**急増**
- ✓ 2014年1月度の報告件数(**4,656件**)は昨年の年間件数(**3,803件**)超え

運用者としてできることには限りがある

SpammerはどうやってID/PWを入手している？

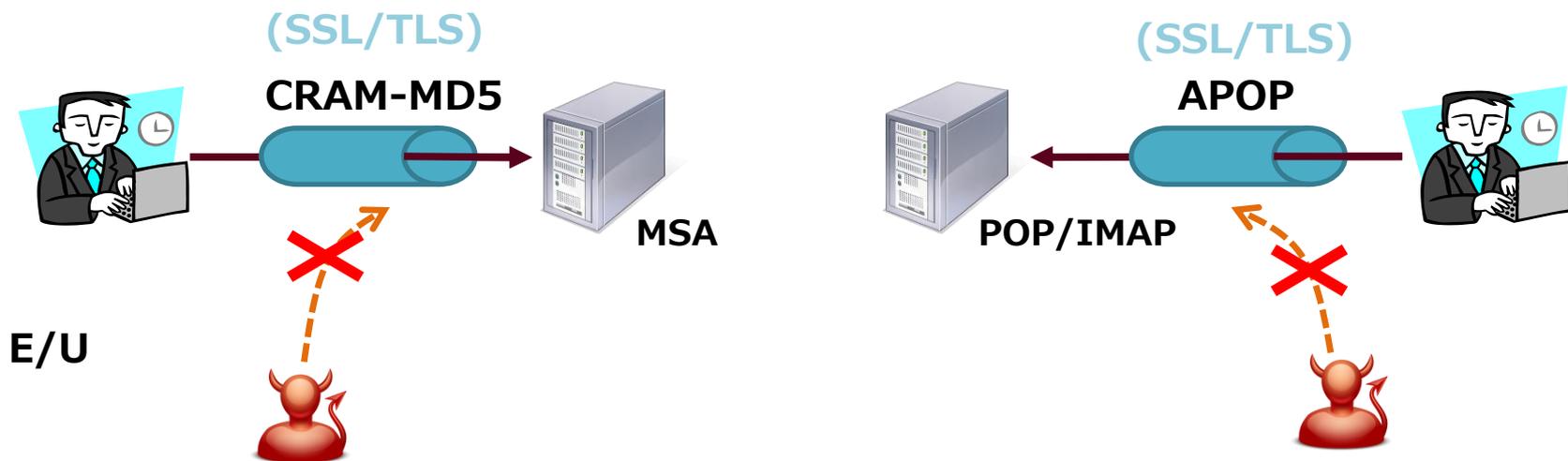
1. マルウェア感染
2. オンライン攻撃
3. 危殆化システム



従来対策…最近の傾向では少ない

Spammer はどうやってID/PWを入手している？

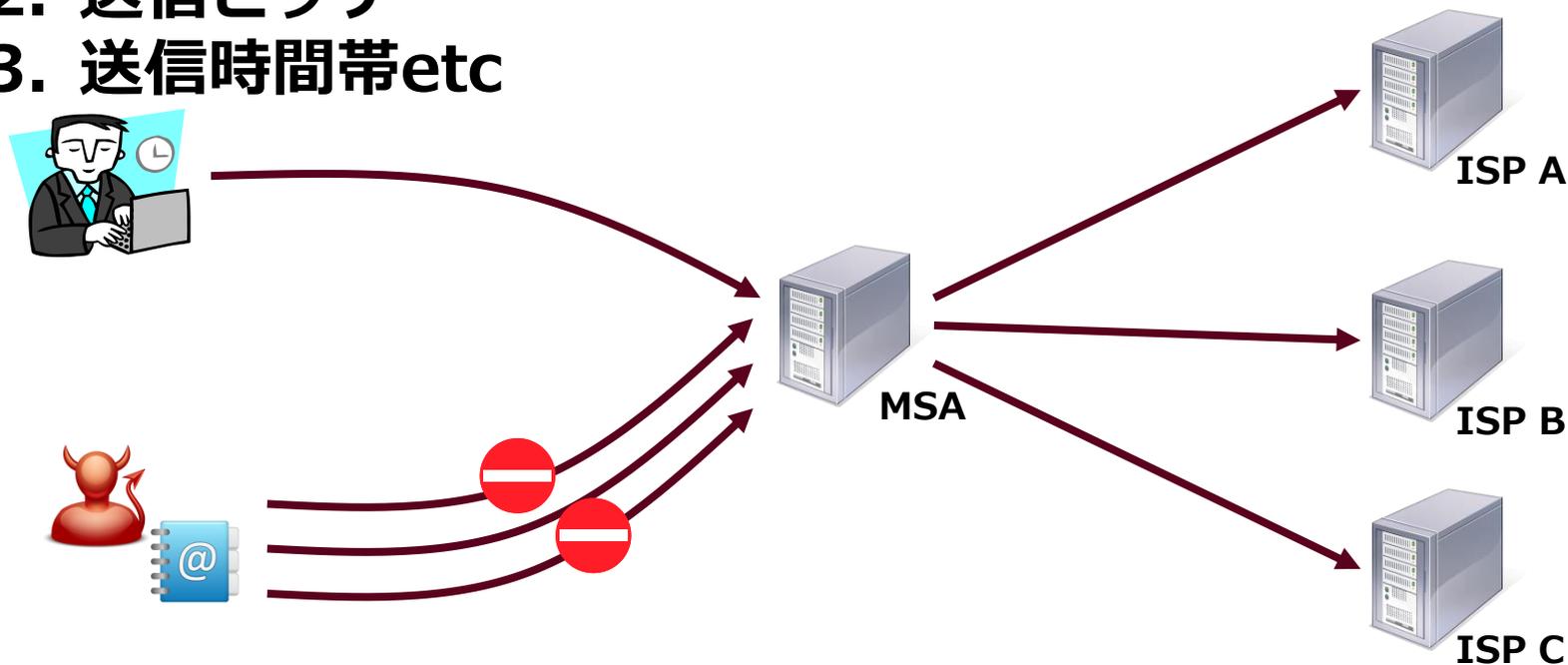
1. マルウェア感染
2. オンライン攻撃
3. 危殆化システム



ID/PW盗聴のリスクは極力避けるべき

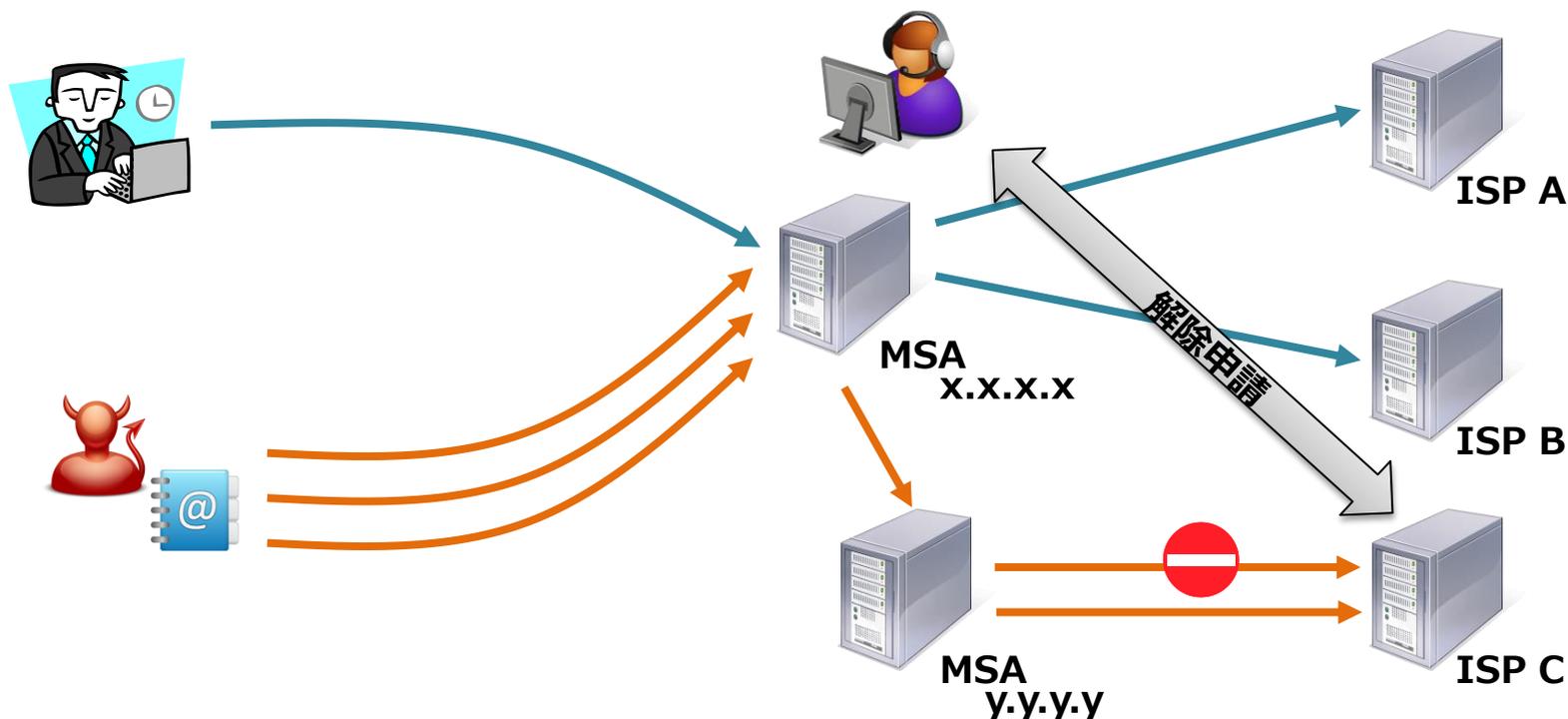
設備に影響を及ぼす事象が発生した場合に
Spammer の特徴を把握してSMTPでrejectする

1. 接続元IPアドレス
2. 送信ピッチ
3. 送信時間帯etc



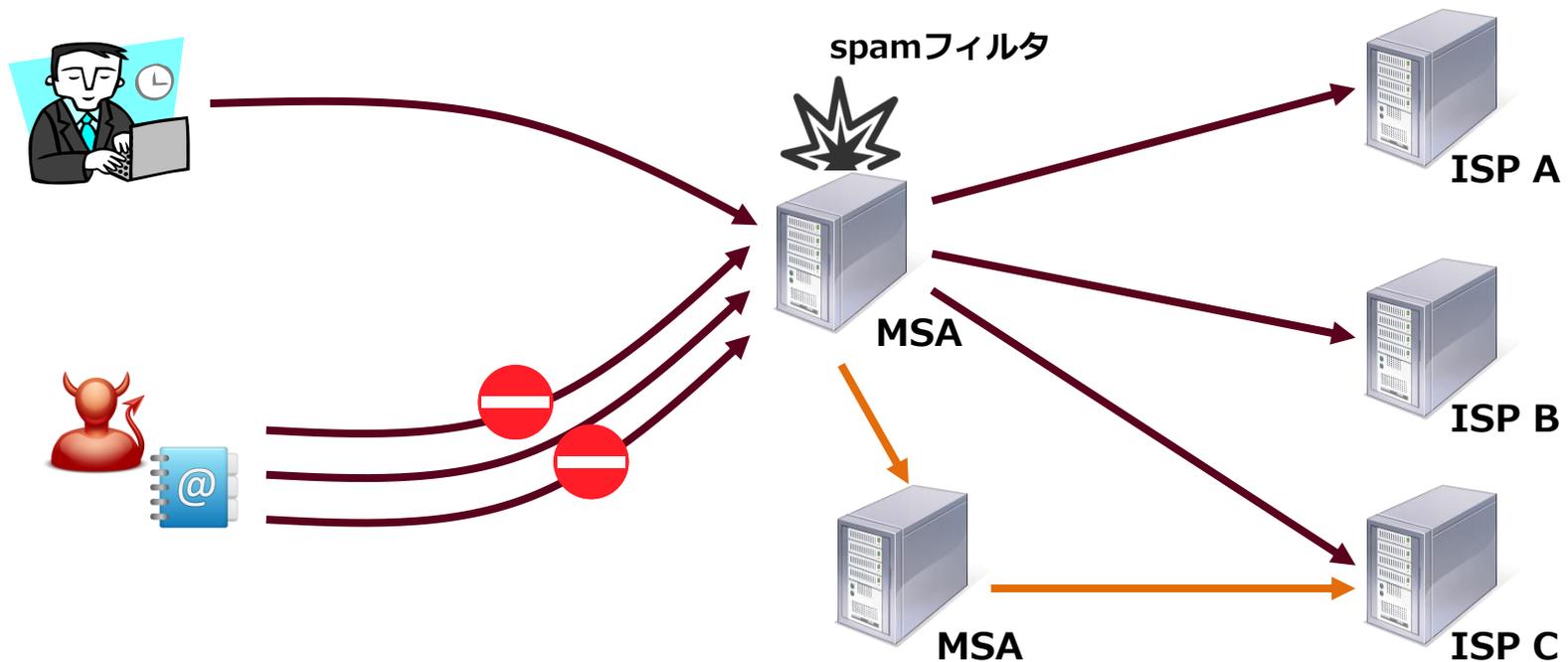
従来対策…基本的にはいたちごっこ

宛先によってISP出口サーバ(IPアドレス)を分離する。
ISP発のスパムを出口専用Bulkサーバに集約して、
「お隣さん問題」「RBL解除コスト」を削減する



一定の効果があるが、一部ユーザに影響あり

(ユーザ同意が前提で)コンテンツフィルタリング実施
reject であつたり出口専用Bulkサーバを経由させる



将来的にはrejectに一本化させるべき
SMTP上では解決できない

- **ワンタイムパスワード／2要素認証**
 - 携帯端末での認証
 - クライアント証明書
 - etc
- **原則送信禁止（オプトイン）**
 - 海外からの送信禁止（申告制）
 - 少しだけ送信遅延（スマホから承認）

法律面を含めて、業界内で協働していくべき

- 今、**submission 踏み台**問題が悩みの種
- 国内ISPにとって共有課題
- ID/PW入手経路のひとつ「**マルウェア感染**」
- 送信側対策の一手「**OutBound Filter**」
- 対策は「不正利用」「大量送信」の観点で検討

ご清聴ありがとうございました